

報道機関各位

沖縄県立博物館・美術館 管理事務所

沖縄に生まれ、あるいは沖縄にゆかりのある 16 人の作家の作品を展示

美術館企画展

琉球の横顔 描かれた「私」からの出発

沖縄県立博物館・美術館（おきみゆー）は11月3日（土）から美術館企画展「琉球の横顔 — 描かれた「私」からの出発」（主催：沖縄県立博物館・美術館）を開催いたします。（会期1月16日まで）

アジア諸国と交易をおこなっていた琉球王国時代から、沖縄は独自の文化を形成してきました。しかし、日本の一部となった後の1932年、沖縄出身の久志美沙子の小説『滅びゆく琉球女の手記（原題は「片隅の悲哀」）』が婦人公論に掲載されると、ハジチなどの習俗に対する表現をめぐり、在京の沖縄県学生会から抗議が起こり、未完のままとなりました。

本展は、89年前に久志がすくった「弱者への差別や偏見」という問題を21世紀の今日に受け止め、表現の限界に迫る方法論を実践するアーティストを取り上げます。沖縄系ハワイ移民をルーツに持つアメリカの作家や1977年に発足した沖縄女流美術家協会の作家、沖縄県立芸術大学などで学んだ作家の作品など、約80点を展示します。沖縄美術の多文化的な側面と可能性を感じていただき、アートの新たな展開を楽しんでいただけることと思います。

【出品作家】

池原清子、久場とよ、中島イソ子、西村立子、上原よし、砂川喜代、石垣克子、ローラ・キナ、エミリー・ハナコ・モモハラ、喜屋武千恵、山川さやか、遠藤薫、胡宮ゆきな、泉川のはな、寺田健人、仁添まりな

※敬称略



エミリー・ハナコ・モモハラ
 《パイナップル・アップサイド・ダウン・ケーキの記号論》2018年



仁添まりな《人魚塚》2018年



あなたの沖縄に出会う

沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

News Release

〈概要〉

展覧会名：美術館企画展「琉球の横顔 — 描かれた「私」からの出発」

会 期：2021年11月3日（水）～2021年1月16日（日）

主 催：沖縄県立博物館・美術館

共 催：一般財団法人沖縄美ら島財団

企画協力：居原田 遥

場 所：沖縄県立博物館・美術館 企画ギャラリー1・2

観 覧 料：一 般／ 1,100円（880円）

高校・大学生／ 500円（400円）

小・中学生／ 200円（160円）

（ ）内は前売料金 ※前売券は2021年11月2日（火）まで販売

開館時間：9：00～18：00（金・土は20：00）

休 館 日：毎週月曜日、年末年始、1/11（火）※ただし、1/10（月・祝）は開館。

※ 広報用画像をご希望の方は ms-kinjo@okichura.jp へご連絡下さい。

〈お問い合わせ先〉

沖縄県立博物館・美術館指定管理者（一財）沖縄美ら島財団

企画班 広報営業担当（金城・福治）TEL 098-941-1232／FAX 098-941-2392